

持続可能な社会への貢献 ～3R活動を考える～

群馬県千代田町立千代田中学校 須永 努

1 はじめに

人は生きていくために、生産→消費を繰り返す。しかし、生み出されるモノは無限ではない。有限である。消費する場面を考え、「効率のよい消費・公正な消費」を行うための「選択」を行うことが、よりよい社会の一員となるために必要である。さらに、われわれの住んでいる地球のこれからのことを考えていくことも必要である。

昨今、叫ばれている言語活動の充実のねらいは、単なる話し合い活動を行うのではなく、生徒の思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を育てる目的にある。その言語活動を充実させるためには、生徒に意欲をもたせるとともに、生徒の主体的な取り組みを引き出す必要がある。生徒の意欲を喚起し、自分の思いを表現したくなる、伝えたくくなるような状況をつくらなければ、生徒の思いを表出させることは難しい。また、生徒が授業に主体的に取り組むからこそ、話し合いを通して友だちの思いに触れ、討論や意見交流を通して理解や認識を深めることができるのである。こうして、言語活動を充実させることを通して、生徒の思考力、判断力、表現力、そしてコミュニケーション能力が高まれば、各教科の学習も一層充実し、授業のねらいを十分に達成することにもつながると考える。こ

のようななかで社会科では、作業的・体験的な学習や問題解決的な学習を一層充実させることにより、学習や生活の基盤となる知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して観察・調査したり、資料から必要な情報を集めて読み取ったりしたことを的確に記録する。さらには、比較・関連づけ・総合しながら再構築する学習や考えたことを自分の言葉でまとめて伝え合うことにより、お互いの考えを深めていく授業の展開が必要である。

2 授業の構想

今回示す授業実践例は、『社会科 中学生の公民』（以下、教科書）第3部「私たちの暮らしと経済」2章「消費者として経済を考えよう」より4節「環境に配慮した消費生活」（p.122）の実践である。この單元では、①家計における収入（所得）と支出（消費）の関係、貯蓄のねらいを学び、②消費者が行う消費行動（買い物）の形態と販売方法の多様化、③消費者を取りまく契約、消費者保護のための法律を学ぶ。そのうえで、現在抱えている地球環境問題とあわせて消費者として必要なことは何か、考えさせたい。小学校ですでに総合的な学習の時間や社会科等で「3R」などについては学習してきている。そこで、これらの知識をもとにして言語活動の視点からも、生徒に消費者としての環境へ配慮した生

活行動の実際を考えさせる授業の展開を考えた。ここでは「エコポイントゲーム」と題し、生徒の実際の生活のなかで、どのような環境に配慮した行動が考えられるか、「3R」の視点で考察させる。そのとき自分自身、家族、友人などさまざまな生活場面を考えさせたい。また、自分だけでなく、自分を取りまく社会、環境、地球にどのような影響があるか判断させる。そしてグループのなかでの話し合いによって、生徒一人ひとりの思考も広がりを見

(3) 展開

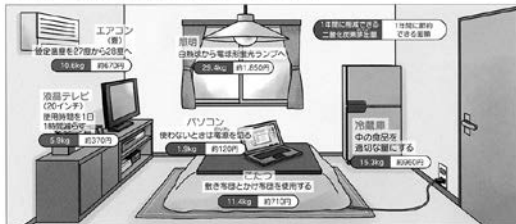
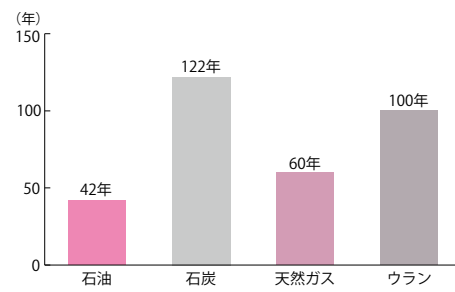
せると考えた。

(1) 内容

資源の有限性を確認し、このままでは資源の枯渇を招くことを理解し、環境に配慮した生活をおくるため、3Rについての具体的な行動を考える。

(2) 本時の目標

- ・資源の有限性を理解する。
- ・持続可能な社会の実現のため、環境に配慮した消費活動を考えることができる。

	学習活動 (○) 予想される生徒の反応 (*)	指導上の留意点, 提示資料 (●)
導 入	<p>○地球上の資源の有限性を知る。 *近い将来、なくなってしまう。 *このまま使い続けるとたいへんだ。 *資源は無限にないんだ。</p> <p>○教科書p.122「①身近な環境対策」を見て、私たちができる環境への配慮を確認する。 *私もやっているものがある。 *こんなことで環境にやさしくできるんだ。</p> <p>あなたは何のくらい節約してる？</p>  <p>※①身近な環境対策 (家庭の省エネ大事典 2012年版)</p> <p>②…あなたの家庭ではどのような環境対策を実行していますか。 『社会科 中学生の公民』 p.122</p> <p>○環境ラベルについて知る。 (参考) 経済産業省の「3R政策」のパamphlet http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/pamphlet/pdf/nattokushittoku3r.pdf *たくさんあるな。 *見たことあるものもあるけれど、見たことないものもある。</p>	<p>●石油、石炭、天然ガス、ウランについての可採年数を提示。</p> <p>化石燃料は限りある資源 ■世界のエネルギー資源可採年数2008 (図-18) 出所: BP統計2009 (石油、天然ガス、石炭: 2008年) OECD/NEA-IAEA Uranium 2007 (ウラン: 2007年)</p>  <p style="text-align: center;"> $\text{可採年数} = \frac{\text{確認可採埋蔵量}}{\text{年間生産量}}$ </p> <p style="text-align: right;">資源エネルギー庁HPより (http://www.enecho.meti.go.jp/)</p> <p>●クイズ形式で環境ラベルについての知識を深める。</p> <p>●時間をかけないように、答えのプリントも用意し、環境への配慮を意識づけする。</p>
展 開	<p>○3Rについて知る。 Reduce (リデュース) (発生抑制) Reuse (リユース) (再使用) Recycle (リサイクル) (再生利用) *小学校のときに学習した。 *言葉は知っているけれど、内容がよくわからない。</p>	<p>●3Rの具体的な内容を提示する。【資料1】</p>

自分たちができる「地球にやさしい」3Rの行動を考え、エコポイントを
獲得しよう！

○どのような行動が考えられるか、4人グループで考える。

- *よくわからない。
- *班で意見がまとまらない。

- ①付箋紙に自分の考えを書く。
- ②3Rそれぞれに用意されたプリントに貼りつける。その際、貼りつけるだけでなく、言葉で説明しながら貼る。
- ③同じ意見は貼り合わせる。
- ④グループで発表する順位づけをする。

○グループごとに発表する。

- ①発表用紙に記入後、1つずつ一斉に発表。
- ②教師がそれに伴うエコポイントを発表。
- ③教師が用意していない内容はスペシャルポイントを獲得。
- ④①～③を繰り返し、獲得ポイントが多い班が優勝。

- 実際の生活の場面を思い起こさせる。
- それぞれの意見の意義や価値を考えながら聞かせる。

●KJ法を使い、意見を集約させる。

- 順位づけの視点は、環境に優しい（貢献度が高い）順であることを伝える。

評価：思考・判断・表現
地球にやさしい消費生活のありかたとして、さまざまな取り組みを考え、自分の意見を表現している。

- 生徒から出てくるすべての考えにエコポイントを与えるよう配慮する。

ま
と
め

- ほかにどのような行動が考えられたか、説明を聞く。
- 消費者だけでなく、企業の取り組みも紹介する。
- 本時の自己評価を行う。

- 【資料2】を配布し、全員で確認をする。
- 以下のことを毎時間自己評価させることで、言語活動を意識し取り組みを行えるよう配慮する。

- ①自分の考え（意見）がもてましたか？
- ②自分が考えた（読み取った）ことを発表したり、書いたりできましたか？
- ③友だちの意見を聞いて自分の考えを広げることができましたか？

(4) 留意点

生徒が主体的に活動できるよう、いくつかのポイントをもった。第一に生徒の身の回り
にある「環境ラベル」を取り上げ、身近な
ところで環境に配慮した社会が広がっている
ことを確認させた。そして自分たちの行動に
よっても環境を守り、自分たちの生活も快適
になることを考えさせた。そのうえで、少人

数グループにおいて、KJ法を使って意見交
換、集約することで、生徒が意欲をもって主
体的に活動できると考えた。

3 おわりに

今回の授業構想は、生徒が主体的に活動し、
かつ身近な消費生活のなかでこれまでの行動

を振り返り、そしてこれからの行動を考えていけるようくふうした。言語活動の充実が校内研修や各種研修で取り扱われることが多い昨今。しかし、生徒が「知りたい」「どうなのか」「何が必要か」などの関心・意欲が

重要になってくる。そう生徒が思う活動を充実させていきたいといつも考えている。生徒にそう思わせるとき、授業は活発になるし、言語活動の充実も図られると思う。

【資料1】 一般的な3R 行動

3Rの分類	概要
Reduce (リデュース) (発生抑制)	ごみの排出量や天然資源の消費量を減らすこと
Reuse (リユース) (再使用)	使えるものを繰り返し使うこと
Recycle (リサイクル) (再生利用)	再使用できないものを原材料として利用すること

【資料2】 3R エコポイントシステム得点表

3Rの分類	行動	説明	ポイント
Reduce (リデュース) (発生抑制)	レジ袋の辞退	商品購入時にレジ袋を辞退してマイバッグを使用する。	1
	クリーニングバッグの辞退	クリーニングの受取時包装を辞退してマイバッグを使用する。	2
	物品包装の辞退	不要な物品包装を辞退したり、簡易包装にしてもらう。	2
	量り売り商品の購入	ペットボトル等の容器入りの商品ではなく、容器を持参して量り売りの商品を購入する。	2
	詰め替え用商品の購入	洗剤ボトル等の容器入りの商品ではなく、詰め替え用商品を購入する。	2
	マイ箸の使用	外食時に割り箸ではなくマイ箸を使用する。	3
	マイ容器の使用	購入時に食品トレーや個別包装等を断り、持参したマイ容器に入れてもらう。	3
	食事は残さず全部食べる	レストランで食べられる量の料理を注文し、残さずに全部食べる。	1
	残した食事を持ち帰る	残した食事はドギーバッグを使用して持ち帰る。	2
	くつ・かばん・電化製品・スポーツ用品の修理	故障した製品を買い換えずに修理して長く使う。	3
Reuse (リユース) (再使用)	古着の購入	新品の衣類ではなく古着を購入する。	1
	古本の購入	新品の本ではなく古本を購入する。	1
	リターナブルびん入り商品の購入	使い捨て用のびんに入った商品ではなく、再使用できるリターナブルびんに入った商品を購入する。	3
	商品購入時のレジ袋の再使用	商品購入時に新しくレジ袋はもらわずに、以前もらったレジ袋を何度も再使用する。	2
	使用済みビニール傘のレンタルサービスの利用	急な雨でビニール傘を購入するのではなく、ビニール傘のレンタルサービスを利用する。	3
	クリーニング店へハンガーの返却	クリーニング店でもらえるハンガーがあまったら返却する。	3
	衣料品の資源回収への協力(古着とする)	着なくなった衣料品は資源回収に出す。	1
	リターナブルびんの分別排出	リターナブルびんの再使用を考えて分別排出する。	1
本の寄贈	読み終わった本を捨てずに寄贈する。	2	
Recycle (リサイクル) (再生利用)	衣料品の資源回収への協力(材料をリサイクル)	着なくなった衣料品をリサイクル資源回収に出す。	1
	空き缶・ペットボトルの分別排出	空き缶やペットボトルを地域で定められた分別方法で排出する。	1
	古紙の資源回収への協力	新聞などの古紙を捨てずに資源回収に出す。	1
	生ごみを回収施設へ持参(堆肥化するため)	家庭用生ごみを回収施設へ持参して堆肥にしてもらう。	3
	堆肥化された生ごみを回収施設へ持参	家庭用の生ごみ処理機で作った堆肥を回収してもらう。	3
	使用済み天ぷら油を回収施設へ持参	使用済み天ぷら油を回収施設へ持参することで、バイオディーゼル燃料や石けん等にリサイクルしてもらう。	3

参考 環境省「3Rエコポイントシステム促進のためのガイドライン」“3Rエコポイントシステムの概要”より作成
(<http://www.env.go.jp/recycle/circul/3r-ep/guideline/02.pdf>)